

磐城時報

石城郡石城郡平町新屋敷十四
番地
印刷 磐城時報社
電話 四二四
代印 所 磐城時報社
電話 四二四
發行 所 磐城時報社
電話 四二四
一月刊金五円
三月刊金十五円
六月刊金三十円
一年刊金六十円
廣告料 一行十行五字五円
A日刊（日曜、祭日）休刊

濱通り初巡視のため

加勢知事來郡

土木課長、商工課長隨行 谷口で官民合同歓迎會

新任加勢本縣知事は中川土木課長、其他有志發起となり、酒井商工課長等を隨へて二午後六時より谷口で官民合同日午後一時五十分磐城東線列車の歓迎會を開く事になった。三日來平し四日まで三日間に亘り日は午前九時自動車で四倉町に石城郡を視察し、夜は双葉、相至り漁港並に警察署を視察し、馬を巡視する筈である。平着の、豊間村縣立回春園を廻つ同時に平警察署、平土木監督所で江名町に至り築港を視察し、小警城訓育院、平區裁判所、警城名町に於て水産試験場完成漁港中學校、警城高等女學校、神谷測候所を視察して新米旅館に村農事試験場を視察して住吉屋泊、四日前八時半小名嶺を出本店に投宿する筈である。平町發勿來町、植田町を視察し午後では知事來平を機し伏見町長、双葉郡に向ふ豫定である。

石城本年の稲作は

五分乃至一割增收

順調に行はれた移植 郡駐在神尾技師調査

石城郡内本年の稲作状況について、草丈も成績良好であった。害ては過般來神尾駐在技師が詳細に移植當時は少なかつたが、に調査中であつたが、本年の苗最近幾分發生した模様で、この移植は六月十二日頃から始まり、驅除を完全に行へば本年は平均十八日、十九日頃が最盛期と二作に比べ五分乃至一割の增收で十七日頃に殆んど終了した。灌あらうと豫想されてゐる。概水は充分で往年水不足當時の如き事は全くなく、順調な田植であつた。移植當時に於ける普通苗代は分蘖少なく二本乃至石城郡農協同業組合では二日午三本であつたが、陸稻は五六本前十時から平町元石城郡役所に

片倉製糸の 具體的協議

協議會を開き代表議員、評議員、其他片倉製糸會社に關係した人々約四十名、片倉組から重役片倉直人氏等も臨席して片倉製糸會社創設に關し將來歩調を調へて進む事を打合せ更に發起人、賛成者その他株式募集に關する根底について協議を遂げた。

結局廿個位か

平局の本年度寄附架設電話は過 般申込受付開始以來申込み頗る

大型の漁船に ラヂオを据付け

磐城丸の無電を直接聞く 飛塚場長の提案可決さる

縣水産試験場では縣下各漁場の主なる水産者協議會をこの程小名濱町試験場内で開いた結果、漁場調査船磐城丸の無線電信機を來る九月四日頃の豫算を以て空管式の無線電信機を取付ける機會に多年の懸案である發動機漁船にラヂオ受信機を据え付けることを飛塚場長から提案協議したところ、据え付け設備費は一臺百圓内外で足る所から江名、小名、四倉、豊間等各漁場の船主連は何れも異議なく、漁船に無線の設備が近く實現する事となつた。水産試験場長は語る。現在磐城丸の漁業探險無電を試験場受信し各漁場へ通電

宣傳行列

平町青年訓練所生廿五名は二日 午前平町商業街に集合し山崎教育

飯釜

高橋巡査が検分

平町北目町小澤仁助（六八）方の飯釜が毎日異様な唸り聲を發するといふので、薄氣味悪さを感じ乍らも恐い物見たさの好奇心から毎日見物人で賑はつてゐるといふ近頃珍無類な話がある。その釜は二升焚きで毎日午前五時頃から木挽屑で飯を煮るのである。この釜の隅で、飛行機が來たやうな音響を發するのだといふ。この事を聞いた平署高橋巡査は、形勢非查が日曜日の七月一日小澤方を訪れ、飯釜を覗くと、噂でめて挽回に努めたが遂に成らずあらうと思つてゐたのが全く本緊張した試合の裡に結局二点の當でブーンと鳴り出した、驚い差を以て平署の勝利に歸した。たのは高橋巡査、鳴りが静まつてから釜を檢分したが、すがつてゐるばかりで何の仕掛けもない……といふ全く怪談夏の夜啼である。

紀念事業

警務村高等小學校では今秋の御 大典事業として献納金を作り併

此程同村大字白鳥小泉久氏所有 田一反歩を借かう職員、生徒

在郷將校會

第二回總會 石城郡在郷將校會第二回總會 は一日午前十時平町縣社子鐵倉

魚捕りの

ついでに盗む 新瀨縣中浦原郡島谷野村生れ當 時好問村字下好問小田炭礦坑夫 前科三犯長谷川盛次郎（三七）は 去月二十一日夜魚を取る目的で

泥棒に入られたのが因で 發狂して縊死

平町立町古物商植松為治内縁の長出張死したが、同人は去月妻大塚ハツ（五〇）は六月三十日中入浴に行つた際留守中に盜賊午後一時三十分頃自宅炊事場に忍び入り衣類在中の簞笥を盗ま細紐を吊して縊死してゐたのを、來て以來極度に悲觀し遂に精神二時半頃隣家の軍司朝雄が發見に異狀を來して自殺したものら尉、松田三等主計、加藤、山届け出たので平署から齋藤部といふ。

平小學校危勝

既報平第一小學校對湯本少年選抜軍の野球試合は一日午後二時頃から木挽屑で飯を煮るのである。この釜の隅で、飛行機が來たやうな音響を發するのだといふ。この事を聞いた平署高橋巡査は、形勢非查が日曜日の七月一日小澤方を訪れ、飯釜を覗くと、噂でめて挽回に努めたが遂に成らずあらうと思つてゐたのが全く本緊張した試合の裡に結局二点の當でブーンと鳴り出した、驚い差を以て平署の勝利に歸した。たのは高橋巡査、鳴りが静まつてから釜を檢分したが、すがつてゐるばかりで何の仕掛けもない……といふ全く怪談夏の夜啼である。

平	8030000	11
一	二三四五六七	
湯	1011042	9

共 存 共
融 金 / 易 儲
蓄 貯 / 味 趣
堅 ト 意 誠
會 商 業 無 城 磐

鳥料理

蒲うなぎ
魚な焼

平町南町
電話四二四番

印刷物は加納活版所

亂暴な自動車

記者様、自動車の亂暴は今更
 口惜しい女生
 申し上げるまでもありません
 が、余りといへば余りひどい
 ので、掲げていたゞきたいと
 思ひこゝに一文を書きます。

二十九日のことでした。平銀
 行の角から停車場の方へ廻る
 ところで私は憎らしい自動車
 (それは黒く塗つてあつた乗
 合自動車でした)のために乗
 物から足袋から泥だらけにさ
 れてしまいました。

私は一丁目の方から来て驛へ
 行くので、道がわるいのでし
 づかに歩いて居りますと、う
 しろからこのにくいく自動車
 が疾風のやうに掛けて来て
 雨のどろを思ふさままざさ
 手かけたのです。

私は汽車で植田町の親戚へ久
 しぶりにゆかうと思つてきた
 のですのに、こつともどうで
 かけたのにはきまりがわる
 くてゆくことも出来ずそのま
 ま引かへして家へかへりまし
 たが口をしくてなりません。

その上にその自動車の運轉手
 は私に泥をバネかけて左も面
 白さうに笑つて行きました。
 私は自動車よりも運轉手の方
 ろひます、イ、エその自動車
 の会社の人をのろひます。

記者様、どうかこんな亂暴な
 自動車と運轉手と会社をせめ
 て下さい、序に取締るべきを
 取締らないその筋の方をも。

かとお願ひするのは私一人は
 かりではありません、悪路を
 歩む方の皆叫ぶところでござ
 います。記者様、新聞の使命
 を活躍さして下さい、そして
 無智の運轉手は兎も角その筋
 の方を指導して下さい。

醬油と味噌

山崎合名會社

福島縣平町
 電話(營業部専用)一〇番
 (一般用)四二七番
 振替東京一九七五五番

上野車坂四三
東京支店
 電話下谷五七二番
 振替東京六八三二二番

外科 專門

花柳病科

平町六丁目橋際
木村外科醫院
 電話三〇九番

外科 專門

目科療診
 花内外科
 柳臟科
 病外一
 科科般

▲診療時間(午前八時より午後九時まで
 但し急患は此の限にあらず)

平町田町大通り(電話四三六番)
安齋外科醫院
 入院隨意

セメント
 壁用材料
コールター
 ペンキ塗料
板ガラス

警城セメント株式會社
 代理店 **西村屋藥舖**
 平町二丁目
 電話三三番

良品廉賣に勝る商略なし!!!

磐城セメント會社特約店

和洋銅鐵
釜屋商店
 金物問屋
 磐城平 電話一九三九番

確實敏捷は(久)の生命なり!!!

耳鼻咽喉科 專問

平町仲田町七一
新築 移轉 合津醫院
 電話五五九番

氷 水

アイスクリーム・ミルクセーキ
 其他清涼飲料物一式(電力應用)
 夏期中滿録を休みます

出前迅速 **藤市**
 電話三〇五

涼しさをそとる

夏ノレンテカン

各種豊富に入荷しました、
 一枚五十錢から一圓五十錢迄
 外に夏スダレ 數種(三十錢から
 一圓五十錢まで)

平町四丁目(電話四五番)
販賣所 伊勢屋商店

預金の賣買に應じます

取扱ひは親切迅速

平町仲田町
株式會社
 電話四六五番

治淋新劑
強アチゴ

急性淋病、慢性淋病、消渴、膀胱炎等ニ用ヒテ
 偉大ノ卓効ヲ奏ス

平町一丁目
特約販賣店 大平屋藥店
 電話六四二番

一葉印刷所

平町字仲田町
 電話七三四番

外科 新設

外科專門 部長 藤本 順
 診療開始

婦人科 院長 木村寅次郎
 從前通り診療

平町新川町
木村醫院
 電話一六四番

農藝用消毒殺虫藥品
 養蠶用寒暖計

の御用は

平町五丁目角 **山野邊藥局**